

2016年5月9日

株式会社 リクルート ホールディングス

リクルートホールディングスが運営する「クリエイションギャラリーG8」にて本日スタート！

第18回亀倉雄策賞受賞記念 三木 健 展[りんごデザイン研究所]

株式会社リクルートホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO：峰岸真澄）が運営するギャラリー「クリエイションギャラリーG8（<http://rcc.recruit.co.jp/>）」では2016年5月9日（月）より6月2日（木）の期間、第18回亀倉雄策賞受賞記念 三木健 展[りんごデザイン研究所]を開催いたします。

第18回亀倉雄策賞受賞記念 三木健 展[りんごデザイン研究所]

1997年に急逝したグラフィックデザイナー亀倉雄策氏の生前の業績をたたえ、グラフィックデザイン界の発展に寄与することを目的として、1999年、亀倉雄策賞が設立されました。この賞の運営と選考は公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会（JAGDA）が行い、毎年、年鑑『Graphic Design in Japan』出品作品の中から、最も優れた作品とその制作者に対して贈られます。

第18回は、三木 健氏の個展の告知ポスター「APPLE+」に決定しました。三木氏は、1982年三木健デザイン事務所を設立。大阪を拠点に、世界グラフィックデザイン会議のコングレスキットや、日本アイ・ピー・エム ThinkPadプロモーション、ベルメゾン、京急百貨店のシンボルマークなど、ブランディングや広告をはじめ、パッケージ、エディトリアル（出版物のデザイン）、空間デザインまで、デザイン領域を横断的に捉え、多様なジャンルで活躍しています。また、大阪芸術大学で教鞭をとり、デザインの教育にも力を注いでいます。

今回の受賞作品は、ギンザ・グラフィック・ギャラリーで開催された個展の告知ポスター「APPLE+」。この展示会は、「りんご」という世界中で誰もが知る果物を通して、デザインの楽しさや奥深さに気づくという、デザインを初めて学ぶ人のために三木氏が組み立てた教育メソッドを紹介するものでした。選考会では、ポスターそのものの堂々たるデザインと共に、その背景にある三木氏のデザイン教育に対するユニークなアプローチが評価されました。

この受賞を記念して個展を開催いたします。



本展覧会ポスター

<展覧会概要>

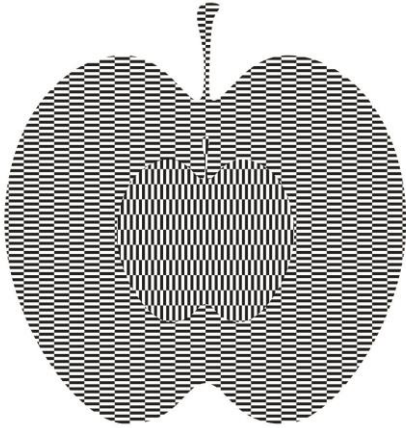
- 企画展名 第18回亀倉雄策賞受賞記念 三木健 展[りんごデザイン研究所]
- 主催 株式会社リクルートホールディングス クリエイションギャラリーG8
- 共催 公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会 亀倉雄策賞事務局
- 会期 2016年5月9日（月）～6月2日（木）
11：00～19：00 日曜・祝日休館 入場無料
- 会場 クリエイションギャラリーG8
〒104-8001 東京都中央区銀座8-4-17 リクルートGINZA8ビル1階
TEL 03-6835-2260 <http://rcc.recruit.co.jp/>
- トークショー 会期中トークショーを開催いたします。
<第271回クリエイティブサロン>
日時：2016年5月24日（火）19：10～20：40
出演：鈴木康広（アーティスト）・三木 健
<第272回クリエイティブサロン>
日時：2016年6月1日（水）19：10～20：40
出演：織咲 誠（インターデザインアーティスト）・三木 健
※いずれも入場無料 要予約（TEL 03-6835-2260）
※電話予約受付時間 11：00～19：00 日曜・祝日除く

【本件に関するお問い合わせ先】

<https://www.recruit.jp/support/form/>

APPLE+

Learning to Design, Designing to Learn
Ken Miki

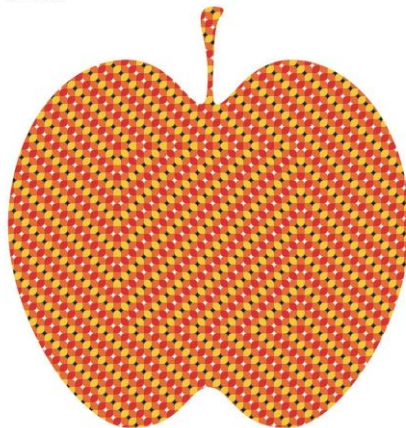


三木健 | 2015年3月5日(水) - 3月31日(水) | 東京都千代田区千代田 | 丸の内線丸の内駅 | 丸の内線丸の内駅

ggg

APPLE+

Learning to Design, Designing to Learn
Ken Miki

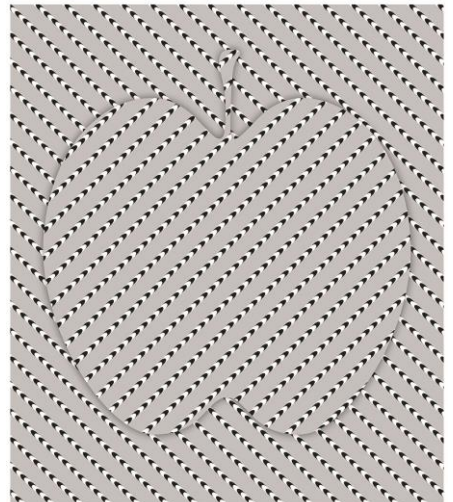


三木健 | 2015年3月5日(水) - 3月31日(水) | 東京都千代田区千代田 | 丸の内線丸の内駅 | 丸の内線丸の内駅

ggg

APPLE+

Learning to Design, Designing to Learn
Ken Miki



三木健 | 2015年3月5日(水) - 3月31日(水) | 東京都千代田区千代田 | 丸の内線丸の内駅 | 丸の内線丸の内駅

三木健 プロフィール



三木 健 MIKI Ken

1955年神戸生まれ。1982年三木健デザイン事務所設立。話すようにデザインを進める「話すデザイン」と、モノやコトの根源を探る「聞くデザイン」で物語性のあるデザインを展開。「気づきに気づく」をテーマに静かな表現の中にエモーショナルなコミュニケーションを潜ませる。主な仕事に世界グラフィックデザイン会議コングレスキット、日本アイ・ビー・エム ThinkPadプロモーション、ベルメゾン、大阪薬科大学、京急百貨店のシンボルマークなど。近年、学びをデザインするプロジェクトAPPLEを展開。その内容を紹介する書籍がスイスのLars Müller Publishersより出版。2015年gggにて「APPLE+ 学び方のデザイン『りんご』」と日常の仕事「三木 健 展」を開催。主な受賞にJAGDA新人賞、日本タイポグラフィ年鑑グランプリ、東京TDC銅賞、世界ポスタートリエントナーレトヤマ銀賞、N.Y.ADC優秀賞など。大阪芸術大学教授。

<受賞のことば>

1964年東京オリンピックの記憶は鮮明に残っている。小学4年生の時だ。日の丸と金の五輪のエンブレム、陸上と水泳のポスター。それらが三面に配置された旧東海銀行の三角柱の貯金箱が僕の机にずっとあった。しかし、当時は亀倉雄策の名を知る由もなかった。その後デザインを志しその存在を知るのだが、初めて本人に出会った日を忘れることはない。1994年、「クリエイションギャラリーG8」での僕の個展開催日だった。当時、G8のあるリクルートビルの2階に亀倉デザイン研究室があり挨拶に出かけた。丁度、東京国際フォーラムのシンボルマーク指名コンペに参加していた僕は、発表を首を長くして待っていた。開口一番「君の東京国際フォーラムのシンボルマークは最終選考で選ばれなかった。シンボルは難しいな」。僕にとっての『デザインの神』のような存在からの言葉だ。「君のシンボルは、君が展開することを目論んでいる。シンボルは打たれ強くなければならない。特に公共のシンボルは難しい。誰が展開しようが、少々斜めに配置をされてもビクともしない強さがない。何より理念が明快に表現されている。それがシンボルなんだ」。この言葉がいまだ脳裏から離れない。あれからずいぶんの年月が経った。まさか、亀倉雄策賞の知らせが僕に届くとは夢にも思わなかった。今回の受賞は『APPLE+』の展示会の告知ポスターが対象だが、その背景には『APPLE』というデザイン教育プログラムがある。これは、誰もが知っている『りんご』を通してデザインの楽しさや奥深さに気づいてもらうという構造だ。身体性を生かした観察手法や、自然界に潜む色の抽出、また、不自由さの中で見つけ出す物の真意や、偶然の幸運に出会う発想法など、ユニークな実習を通して『気づき』に気づき、最終的にはそれらすべてのプロセスが記録された教科書へと仕上がる。このように社会課題の一つである『教育』をテーマにしたデザインに評価をいただきとても嬉しく思う。このプロジェクトでは、ポスターにおける錯視を心理学者で立命館大学の北岡明佳教授に監修をいただき、その他多くの専門家に協力を得た。ポスター、空間、インタラクティブ、映像、音楽、立体造形、書籍などあらゆるメディアを駆使して「デザインとは何か」を問い続けた。そして、その問いに真剣に悩み答えを模索した学生達。ここにみんなの力が結集してこの度の受賞へと繋がったと思う。多くのおみなさんにこの場を借りて感謝したい。

リクルートホールディングスではこれからも、働く、学ぶ、住む、結婚、育児、旅、車、趣味や暮らし情報など、さまざまな場面でユーザーが新しい発見・機会創出できるサービスを提供し、一人ひとりにあった「まだ、ここにない、出会い。」を届けることを目指していきます。

1997年に急逝した亀倉雄策氏の生前の業績をたたえ、グラフィックデザイン界の発展に寄与することを目的として、遺族の寄付により設立された亀倉雄策賞。亀倉氏が設立から長く会長を務めた公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会（JAGDA）に運営を一任し、毎年国内賞「亀倉雄策賞」を、さらに3年に一度「亀倉雄策国際賞」を授与する。「亀倉雄策賞」は『Graphic Design in Japan』応募作品の中から、最も優れた作品とその制作者を、「亀倉雄策国際賞」は富山県立近代美術館で開催される「世界ポスタートリエンナーレトヤマ」の応募作品の中から、国際性と普遍性の高い、優れた作品とその制作者を表彰するもの。いつになっても「東京オリンピックの亀倉」と呼ばれることを嫌い、亡くなる直前まで「今」の仕事で若い世代と競い、グラフィックデザイン誌『クリエイション』の編集を通じて、グラフィックデザインの芸術性、本質を追求した亀倉氏の遺志を尊重し、普遍性と革新性を持ったグラフィックデザインを顕彰していく。賞金はいずれも50万円。賞状は佐藤 卓氏によるデザイン。

<これまでの亀倉雄策賞受賞者（敬称略）>

第1回 田中一光／第2回 永井一正／第3回 原 研哉／第4回 佐藤可士和／第5回 仲條正義／第6回 服部一成
 第7回 勝井三雄／第8回 受賞者なし／第9回 松永 真／第10回 佐藤 卓／第11回 植原亮輔／第12回 浅葉克己
 第13回 受賞者なし／第14回 澁谷克彦／第15回 平野敬子／第16回 葛西 薫／第17回 佐野研二郎
 ■授賞式：2016年6月25日（土）京都にて実施予定（2016年度JAGDA通常総会会場）
 ■作品発表：年鑑『Graphic Design in Japan 2016』（2016年6月発行予定／六耀社刊／予価16,200円）

第18回亀倉雄策賞 選考経緯

■第1次選考（2015年12月）

- ・年鑑『Graphic Design in Japan 2016』掲載作品選考会において、全2,201作品を対象に29名の選考委員が候補作品を選出。
- ・候補になったのは、年鑑の選考で高得票を獲得したものと。選考委員数の違いにより一般グラフィックの各カテゴリーと、インタラクティブデザインおよび映像作品カテゴリーとで入選ボーダー票数が異なるため、一般グラフィックを基準とし、コンピュータで補正したスコアを使用。補正スコア22.7票以上を獲得した66作品が候補となった。
- ・この中から、過去の受賞者9名（浅葉克己、植原亮輔、葛西 薫、佐藤 卓、澁谷克彦、永井一正、仲條正義、服部一成、原 研哉）による20作品を対象外とし、残る31名および2組による46作品を選出した。

■最終選考（2015年12月）

- ・ひとり（1組）あたり1作品を候補とするというルールに従い、複数作品が候補に上がっている出品者については、選考委員の多数決で各1作品または1シリーズ作品を選び、最終ノミネート作品とした。
- ・全32作品を対象に選考委員がひとり3票を持って投票を行った。5票以上を獲得した3作品（大黒、三木、渡邊の作品）が最終候補となり、決選投票で5票を獲得した、三木の作品が選ばれた。
- ・選ばれたポスター「APPLE+」は、ギンザ・グラフィック・ギャラリーで開催された企画展の告知ポスター。この企画展は、「りんご」という世界中で誰もが知る果物を通して、デザインの楽しさや奥深さに気づくという、三木氏のデザイン教育メソッドを紹介する展覧会だった。選考会においては、ポスターそのものの堂々たるデザインと共に、その背景にある三木氏のデザイン教育に対するユニークなアプローチが評価された。

■最終選考委員会メンバー

- ・亀倉雄策賞運営委員＝勝井三雄（選考委員長）、浅葉克己、佐藤晃一（当日欠席）、佐藤 卓、永井一正、仲條正義、原 研哉、松永 真／・ゲスト選考委員＝片岸昭二、川上元美、下谷二助

候補作品（作家五十音順、敬称略）

- ポスター「D-BROS」（出品者：飯田 郁 cl:ディー・ブロス）
- パッケージ「越後亀紺屋 藤岡染工場」（出品者：石川竜太 cl:越後亀紺屋 藤岡染工場）
- ポスター「mt itself」（出品者：居山浩二 cl:カモ井加工紙）
- V「I 長栄館」（出品者：色部義昭 cl:長栄館）
- ポスター「世界卓球 2015」（出品者：上西祐理 cl:テレビ東京）
- インタラクティブデザイン「1秒の世界」（出品者：岡崎智弘 cl:21_21 デザインサイト）
- 環境・空間「単位展」（出品者：岡本 健 cl:21_21 デザインサイト）
- パッケージ「san grams」（出品者：川上恵莉子 cl:丸松製茶場）
- ブック・エディトリアル「日経回廊」（出品者：菊地敦己 cl:日本経済新聞社）
- 雑誌広告「とらや 和菓子」（出品者：木下勝弘 cl:虎屋）
- ブック・エディトリアル「東京」（出品者：工藤“ワビ”良平／中西“サビ”一志 cl:スモークスタックス）
- 新聞広告「50 selfies of Lady Gaga」（出品者：小杉幸一 cl:資生堂）
- ポスター「POLIS」（出品者：白井陽平 cl:丸萬） ●パッケージ「efuca.」（出品者：白本由佳 cl:エフカ）
- 雑誌広告「無印良品キャンプ場」（出品者：新村則人・庭野広祐 cl:良品計画）
- 複合「TAKAO 599 MUSEUM」（出品者：大黒大悟 cl:八王子市）
- 映像「LAFORET PRIVATE PARTY」（出品者：竹内佐織 cl:ラフォーレ原宿）
- ジェネラルグラフィック「横山裕一展」（出品者：タナカタツヤ cl:ヒトト）
- 映像「視点」（出品者：玉置太一 cl:玉置太一）
- インタラクティブデザイン「coron.」（出品者：徳田祐司 cl:カナリア+AOI Pro.）
- 映像「blooming pins」（出品者：中嶋貴久 cl:明光堂）
- パッケージ「SHISEIDO BIO-PERFORMANCE」（出品者：信藤洋二 cl:資生堂）
- ポスター「2016年度女子美術大学・大学院・短期大学部 学生募集」（出品者：林 規章 cl:女子美術大学）
- ポスター「エアラス・性能と品質」（出品者：廣村正彰 cl:特種東海製紙）
- ポスター「テンペスト」（出品者：福島 治 cl:劇団山の手事情社）
- ブック・エディトリアル「Code Unknown」（出品者：藤田裕美 cl:アマナノイマ）
- ポスター「APPLE+」（出品者：三木 健 cl:DNP文化振興財団）
- シンボルロゴ「千代鶴」（出品者：宮田裕美詠 cl:千代鶴酒造）
- ポスター「LOADING」（出品者：村上雅士 cl:ラップヤード）
- 映像「IHI LOGO WORLD」（出品者：八木秀人 cl:IHI）
- ジェネラルグラフィック「LAFORET GRAND BAZAR 2015 WINTER」（出品者：矢後直規 cl:ラフォーレ原宿）
- パッケージ「オードリー 限定パッケージ」（出品者：渡邊良重 cl:プレジィール）